

提出された議案を
くわしく審査!

常任委員会報告

ふるさと筑後市 応援寄附が増加

もっと知りたい
ちっごの課題



総務文教委員会

委員会では、条例改正1件、補正予算1件を審査し、すべて全員賛成にて原案可決した。

ふるさと応援寄附の見直しは

一般会計補正予算の行財政確立対策に要する経費については、ふるさと筑後市応援寄附の増加により、基金積立金や返礼品等の経費を増額するもの。

問 寄附の現状と今後の見直しは。

答 6月に初めて専用ポータルサイト「ふるさとチョイス」に掲載されたことにより、寄附の申込みが急増し、1か月で770件、895万円の寄

附があった。返礼品はブドウ、ナシ、モモ等の果物が人気だったが、その後は品切れとなり、返礼品の確保に対応できず、7月は184万円、8月は260万円と減少した。今後、年末にかけてイチゴ(あまおう)が返礼品の主力となり、寄附額も4000万円程度になると考えられるが、品物の確保についてJAと協議中である。

消火栓設備を改修

学校管理に要する経費については、水田小学校屋内消火栓設備(ポンプ、

配管)が老朽化し、改修

のため、工事費用を計上するもの。

問

小中学校における消火栓、ポンプの定期点検や消火訓練の現状は。

答 水田小学校については定期点検により故障を発生したものの、設置後30年以上を経過した設備のため大掛かりな改修となった。他の学校では、老朽化はあるものの大規模な改修の必要はなく、平成29年度までに改修する。



老朽化した水田小学校の消火栓

学校での訓練は避難訓練が主である。消火栓訓練についても実施するよう指導する。

厚生委員会

委員会では、条例改正2件、補正予算2件について審査し、すべて全員賛成にて原案可決した。

地域密着型サービスの条例を改正

平成28年4月から、定員18人以下の通所介護事業所は地域密着型サービスに移行するため、その基準等を条例に追加するもの。

問 県から市へ多くの業務が移るのか。

答 市が指定を行うため、指定・監督権限等が市の業務となる。集団指導、実地指導等を行い、事業所が開催する運営推進会議へも参加する。日常的な相談等も受けるため、

業務は増加する。**問** 地域密着型サービスは市内に住んでいる人しか受けられないのでは。**答** 原則として筑後市に居住する被保険者のみが利用できる。

ただし、今年4月からの制度なので3月まで市外の施設を利用していた人は「みなし指定」により利用の継続が可能だ。

問 みなし指定の期限は。**答** その事業所の次の指定更新までである。その後も利用したい場合は、事業者が利用者の保険者である市町村長に申請し、認められれば可能である。

見守り支援のため

介護ロボットを導入 介護従事者の負担を軽減するため、経費の一部を助成する国の制度が創設され、ロボット導入の際、1事業所あたり92万7000円を上限に補助。2事業所が導入計画を立てている。

建設経済委員会

委員会では、一般会計補正予算1件、水道事業剰余金の処分について審査し、すべて全員賛成にて原案可決した。

産業用地適地調査の進捗状況は

企業誘致費の補正については、産業用地適地調査業務に対する「福岡県工場適地調査補助金」の交付決定に伴い財源組替えを行うもの。県補助金364万円を活用し、一般財源負担の軽減を図る。

問 業務委託の進捗状況や今後の予定は。

答 業者とは6月に契約締結した。現在は適地候補地の調査、評価、選定を行っている。候補地は

8か所あり、最終的には2か所に絞る。**問** 誘致適地の規模は。**答** 1か所10〜12haを予定している。

野中踏切拡幅

工事費が安価に

道路新設改良費の補正については、野中踏切拡幅工事が予算より安価で実施できることとなったため、余剰財源2600万円を道路整備へ振り替えるもの。工事委託については、JR九州と今年度中に契約を締結する。

問 なぜ安価で工事ができるようになったのか。

答 契約前にしっかりとした精査を要請した結果であると推測する。

未処分利益剰余金

処分のルールは

水道事業剰余金の処分については、平成27年度未処分利益剰余金のうち、減債積立金に300

0万円、建設改良積立金に1億5000万円を計上し、残額3690万円を翌年度繰越利益剰余金とするもの。

問 未処分利益剰余金処分のルールはあるのか。

答 地方公営企業法に基づき、欠損があればそこに充当し、ない場合は、議会の議決を経て処分を行わなければならない。

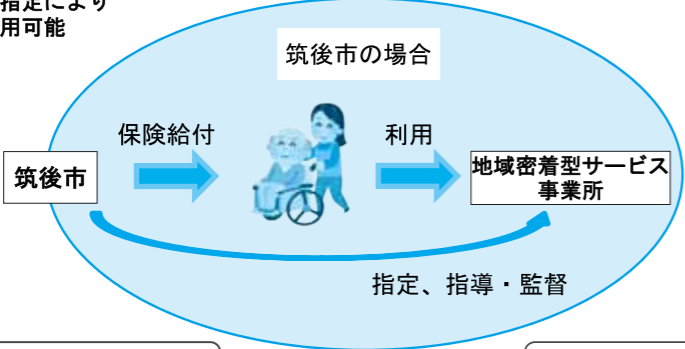


踏切拡幅工事前の野中踏切

地域密着型サービスとは・・・

介護が必要な状態になっても住み慣れた地域での生活が継続できるように、市町村が指定した事業者が地域住民に提供するサービスのこと

- ①原則、筑後市の住民のみが利用可能 ※みなし指定により継続利用可能
- ②地域のニーズに応じた整備促進



- ③地域の実情に応じた人員基準、施設基準、介護報酬設定
- ④公平・公正・透明性のある事業運営

地域密着型サービスイメージ図

問 介護ロボットとは。**答** ロボットの技術を活用した介護機器で、対象となるのは移乗介助、移動、排泄、見守り、入浴支援。
今回はいずれも見守り支援のために導入予定で、センサーマットで利用者の動きや脈拍をリアルタイムで捉え、居室内を「見える化」するもの。